

(1) 工事コストの低減
①建設副産物対策

消波ブロックの有効活用

宮崎空港用地造成（北護岸改良）工事

【施策の概要】

- ・ 構造上不要となった消波ブロックの積極的活用

【施策のポイント】

- ・ 宮崎空港は600m拡張工事に昭和58年度から着手したが、施工中に異常な越波現象が確認されたことから、消波ブロックの設置等越波対策を実施し、平成2年に滑走路2500mの空港として供用開始した。

しかし、供用後も異常時には護岸からの越波が予想以上に激しく、空港用地が冠水及び浸食を受けることがたびたび発生したため、既設護岸前面に延長140mの離岸堤を設置し越波対策を実施した。

既設護岸に当初設置していた消波ブロックが、離岸堤を設置したことにより不要となったため、設計上必要な他工区へ流用し有効利用した。消波ブロックの流用によりブロック製作費の縮減が図られた。
(縮減額：60百万円)

【施策の実施状況・イメージ図】

